

各高等学校長様

三重県高等学校体育連盟卓球専門部

部長 森山隆弘

[公印省略]

令和4年度第72回三重県高等学校総合体育大会卓球競技
兼令和4年度全国高等学校総合体育大会卓球競技兼東海高等学校総合体育大会卓球競技
三重県予選会について（通知）

このことについて、下記要項によって開催いたしますのでふるってご参加ください。
なお、新学期早々のことですので、新旧顧問の先生の事務引継ぎに留意され申込み手続き、
登録等に間違いのないようご注意ください。

実施要項

主催 三重県高等学校体育連盟、三重県教育委員会および三重県卓球協会
主管 三重県高等学校体育連盟卓球専門部

- 1 期 日 (1) 令和4年4月29日(金) 9:00～ 男女ダブルス
(2) 令和4年5月3日(火) 9:00～ 男女シングルス
5月4日(水) 9:00～ " 決勝リーグ
(3) 令和4年5月28日(土) 9:00～ 男女学校対抗
5月29日(日) 9:30～ " 決勝リーグ

- 2 会 場 (1) (2) (3) とも
三交Gスポーツの杜伊勢（三重県営総合競技場）体育館
伊勢市宇治館町510 TEL (0596-22-0188)

- 3 競技種目 男女学校対抗 男女ダブルス 男女シングルス

4 競技日程

期 日	時 間	内 容	
4月29日(金)	9:00～	男女ダブルス	ベスト4までトーナメント ベスト4リーグ戦
5月3日(火)	9:00～	男女シングルス	ベスト8までトーナメント
5月4日(水)	9:00～	男女シングルス	ベスト8リーグ戦
5月28日(土)	9:00～	男女学校対抗	ベスト4までトーナメント
5月29日(日)	9:30～	男女学校対抗	ベスト4リーグ戦

5 競技規則

- ①開催日現在の日本卓球ルールおよび三重県高体連卓球専門部出場規定を採用する。
 - ②個人戦のアドバイザーのベンチ入りについては、下記の通りとする。
 - ・ダブルスの4決定、シングルの8決定からアドバイザーを認め、タイムアウト制も適用する。
 - ・アドバイザーの資格は、当該校の役職者（監督）および大会申込み時にエントリーされた当該校の選手（男女は別とする）に限る。
 - ・アドバイザーは、試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
 - ③役職者（監督）は日本卓球協会に登録完了の役職者（監督）に限る。
 - ④学校対抗の合同チームは認めない。
 - ⑤学校対抗は1回戦からタイムアウト制を適用する。
- （注意）役職者（監督）は、必ず事前に登録（振込完了含む）すること。

6 競技方法

- ①全種目11本5ゲームスマッチとする。
試合球は VICTAS、Nittaku、バタフライのプラスチック球とする。
- ②男女ダブルスはベスト4までトーナメント戦で選出し、その後4チームのリーグ戦により順位を決定する。
- ③男女シングルスはベスト8までトーナメント戦で選出し、その後8人のリーグ戦により順位を決定する。8シードは地区予選組合せ会議時のポイントが高校1～3年生の上位8名とし、出場しない選手が出た場合は繰り上げて8名を決める。
- ④男女学校対抗（団体戦）は次の方法で行う。
 - ア. 男女ともベスト4までトーナメント戦で選出し、その後4チームによるリーグ戦により順位を決定する。
 - イ. 登録選手は4～10名とする。

試合順序	1	2	3	4	5
試合種別	S	S	D	S	S
 - ウ. 勝敗は4～6名による1ダブルス・4シングルの5試合3点先取で決める。
 - エ. 3番のD（ダブルス）は1・2番のS（シングルス）に出場した選手同士で組めない。なお、S（シングルス）はすべて異なる選手とする。

7 引率・役職者（監督）

- ①引率責任者は、下記の通りとする。
 - ・校長の認める当該校職員（校長から委嘱された「部活動指導員」含む）とする。
 - ・「部活動指導員」は、三重県高等学校体育連盟会長に届け出ること。
- ②役職者（監督）は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は障害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

補足：外部指導者が監督になるために必要な手続きは下記を参照すること。

年度当初の「卓球部顧問の先生へ」（HPにもアップ済み）

「連絡事項 1 外部指導者が監督になるための手続き」

8 参加資格

- ①三重県高体連加盟校にて、三重県高体連卓球専門部出場規定に違反しない生徒であること。
- ②令和4年度日本卓球協会に登録完了の生徒であること。
- ③ダブルス各地区予選通過者（各地区予選の要項は地区支部長より後日送信）。

地区別通過枠	男子	女子
北勢	32	32
中勢	32	32
松阪南勢	24	24
合計	88	88

※下記のペアは、昨年度の三重県高校卓球選手権大会、全日本卓球選手権大会三重県予選会、三重県卓球選手権大会にてベスト4に入賞したため地区予選を経ずして左記枠外で県予選会に出場できる。地区予選免除ペアの名前は地区予選要項に後日明記される（予定）。

※男子 宮崎・春日井（白子） 松尾・中野（白子） 前出・野口（高田） 雪岡・竹中（津） 小倉・古田（白子）

※女子 山脇・由井（白子） 岩本・達知（高田） 鈴木・薄井（高田） 小山・柴田（三重） 土井・松尾（白子）

- ④シングルス各地区予選通過者（各地区予選の要項は地区支部長より後日発送）。

地区別通過枠	男子	女子
北勢	48	32
中勢	48	32
松阪南勢	32	24
合計	128	88

※地区予選組合せ会議時のポイントが高校1～3年生の上位8名（出場しない選手が出た場合は繰り上げて8名を決める）は、地区予選を経ずして左記枠外で県予選会に出場できる。地区予選免除選手の名前は地区予選要項に後日明記される（予定）。

※地区予選免除選手も、③ダブルスおよび④シングルの地区予選に必ず申込みをすること。申込みのない場合は県予選会への出場意志がないものと判断する。

9 申込方法

【地区予選（S：シングルス・D：ダブルス）】

※地区予選要項は後日地区支部長より送信される。

①日本卓球協会の選手登録をする。

- ②「■R4登録&申込（〇〇高）（sheet④⑤）」にてメールで申込む。

（申込×切後のダブルスのメンバー変更は原則認めない）

※県大会S・Dアドバイザー希望の外部指導者は本要項7. ②と補足参照。

（①②ともに×切注意：地区予選要項参照）

【学校対抗】

①団体登録料振込。

②日本卓球協会の選手、役職者（監督）登録をする。（既登録分除く）

- ③「■R4登録&申込（〇〇高）（sheet⑥）」にてメールで申込む。

（①②③すべて×切：5月16日（月））

（sheet⑥の監督欄は2日間通してベンチに入れる者とする）

※団体戦の監督希望の外部指導者は本要項7. ②と補足参照。

各試合申込みメール送信先（地区支部長一覧）

北勢	今枝 治	桑名高校	imaeda.o@mxs.mie-c.ed.jp
中勢	宇仁田慎司	高田高校	tyuuseisibu2013takkyuu@yahoo.co.jp
松阪	榎本 貴之	松阪工業高校	enomoto.ta@mxs.mie-c.ed.jp
南勢	中津 啓	伊勢高校	nakatu.hi@mxs.mie-c.ed.jp

補足：日本卓球協会への登録完了が確認できない場合、当日試合会場にいても、県大会への選手の試合出場も、監督やアドバイザーのベンチ入りも認められない。

10 連絡事項

- ①学校対抗の組合せ抽選会（今年度顧問総会）は5月10日（火）に実施する。
ただし抽選会に生徒は参加できないため、出席できるのは顧問のみとする。
- ②役職者（監督）は、日本卓球協会発行の役職者（監督）章をつけること。
（後日配布予定）
- ③シングルスの出場選手が1名あるいはダブルスの出場ペアが1組の学校については、審判要員として1名の生徒を派遣すること。
- ④開館8：00、開会9：00とする。
- ⑤受付で下記の書類を8：50までに提出する。
 - ・学校対抗の参加申込書（前述sheet⑥要校長印）⇒ 学校対抗初日
 - ・健康チェックシート ⇒ 試合日ごと
 - ・外部指導者の提出書類は本要項7. ②と補足参照
- ⑥学校対抗は、試合進行状況によっては2台並行で行う。
- ⑦県総体としての学校対抗は、東海総体および全国総体の県予選を兼ねる。
- ⑧学校対抗は男女とも1位が全国総体へ、1位～4位が東海総体へ出場する。
学校対抗ベスト4進出時点で、該当チームに本部より重要な連絡がある。
男女ダブルス1～2位、男女シングルス1～4位は全国総体へ出場する。
男女ダブルス1～4位、男女シングルス1～8位は東海総体へ出場する。
（全国総体7月29日～愛媛県宇和島市、東海総体6月18日～愛知県開催）
※本年度東海総体参加料は団体20,000円、個人2,000円。

11 その他、要項作成日現在の新型コロナウイルス感染症対策

- ①入場制限について
 - ・無観客試合とするが、所属部員の入場は認める。
- ②検温・消毒・その他感染拡大防止策について
 - ・本館会場入口にて検温と手指消毒をする。
 - ・検温で異常がなければそのまま館内に入場できるものとする。
 - ・消毒は、試合前後だけでなく随時励行すること。
 - ・試合球は1試合ごとに消毒済みのものと交換すること。
 - ・会場内では競技中の選手以外、マスク着用を必須とする。
 - ・観客席では座席ひとつ以上を空けて着席し、互いに密を避けること。
 - ・タオルは、卓球台にかけずに、床に直接触れることのないようにすること。
（卓球台の下のラケットケースの上に置く、ビニール袋等に入れるなど）
 - ・審判用の筆記用具は各選手で準備すること。
 - ・組合せ表は受付で配布しないので、HPからダウンロードすること。
 - ・下記のことは控えること。
 - 試合前後の選手同士、あるいは審判との握手
 - 試合前のラケット交換（互いに見せ合うだけにとどめる）
 - 卓球台上や卓球シューズの裏を手で拭くこと、タオル共用、飲料回し飲み
 - 会場内での大きな声での会話や、声援（応援は拍手のみ）
- ③追加（変更）の連絡事項について
 - ・下記の方法で確認すること。
 - 各支部長より各校に送信するメール
 - 三重県高体連卓球専門部HP